

3 東日本大震災に関する北九州市の 主な支援状況(平成 25 年度)

3 東日本大震災に関する北九州市の主な支援状況 (平成 25 年度)

1 職員派遣

○釜石市

平成 24 年度に引き続き、平成 25 年度も 10 名の職員を一年間派遣

(これまで釜石市には延べ 382 人の本市職員を派遣)

- ◆北九州市・釜石デスク（事務 1 名）〈※他に現地にて嘱託職員 1 名採用〉
- ◆釜石市復興支援本部（土木 4 名、事務 2 名）◆釜石市都市計画課（土木 1 名）
- ◆釜石市水産農林課（土木 1 名）◆平田生活応援センター（保健師 1 名）



○福島県双葉消防本部

双葉消防本部の要請を受け、福島県内の消防本部を含む全国の消防本部から消防職員を「福島支援全国消防派遣隊」として派遣し、消防活動等の支援を行うこととなり、本市消防局についても、6名の消防職員を派遣した。

＜全国からの派遣＞

- 1 派遣人員：総人員 1 9 5 名（1 派遣：約 1 2 名、2 週間程度）
- 2 活動期間：平成 2 5 年 4 月 1 日～9 月 3 0 日
- 3 派遣消防本部：2 2 消防本部（福島県内 7 本部、全国 1 5 本部）
- 4 業務内容：双葉消防本部管内の火災の警戒及び火災発生時における消火活動等の警防業務

＜北九州市からの派遣＞

- 1 派遣人員：6 名（1 派遣 3 名の 2 回、計 6 名）
- 2 派遣期間
 - （第 1 回）平成 2 5 年 6 月 2 3 日（日）～7 月 5 日（金） 1 3 日間
 - （第 2 回）平成 2 5 年 8 月 2 3 日（金）～9 月 4 日（水） 1 3 日間

2 北九州市・釜石デスク

平成 23 年 8 月 1 日に釜石市役所内に「北九州市・釜石デスク」を設置し、本市職員が常駐しながら、支援に係る具体的なアドバイスや本市関係部局との連絡調整などを行っている。（事務係長 1 名、現地採用嘱託職員 1 名の 2 名体制）



3 支援活動を通じた市民交流

○八幡饅頭 1 万個の提供 【平成 25 年 5 月】

市内企業より、八幡饅頭 1 万個（100 万円相当）を贈りたいとの申し出があり、釜石市内の仮設住宅 66 団地 3,000 戸及びみなし仮設に各戸 3 個ずつ配布した。

饅頭を受け取った方からは、「同じ製鉄の街である北九州市に親近感を感じる」、「久しぶりに甘いものが食べられてうれしい」といった感想が寄せられた。



○わっしょい百万夏まつりに被災地応援ブースを設置【平成 25 年 8 月】

平成 23 年度より、わっしょい百万夏まつりの会場に被災地応援ブースを設置し、支援活動のパネル展示や東北物産の販売等を行っている。3 度目となる今年度は北九州市立大学生による「絆焼うどん」の販売等を行った。（日時：平成 25 年 8 月 3 日、4 日 場所：北九州市庁舎周辺）



○農林水産まつりにて釜石焼きサンマ 2,000 本の無料振る舞い【平成 25 年 11 月】

昨年度に続き、釜石市より復興支援のお礼として釜石焼きサンマ 2,000 本の無料振る舞いが行われた。当日は多くの来場者が詰め掛け、最大 300 人の行列ができた。(日時：平成 25 年 11 月 23 日、24 日 場所：総合農事センター)



○釜石冬の味覚まつりに北九州市ブースを出展【平成 26 年 1 月】

昨年度に続き、北九州市より小倉焼きうどんの出展や、ステージイベントへの参加を行った。(日時：平成 26 年 1 月 18 日、19 日 場所：釜石市)



○北九州マラソン・50 周年イベント「夢・未来フェスタ」に釜石市から出展【平成 26 年 2 月】

昨年度に続き、釜石市より復興支援のお礼と交流拡大のため、ホタテ浜焼や海産物等の販売を行った。(日時：平成 26 年 2 月 8 日、9 日 場所：小倉北区)

また、北九州マラソン 2014 (2 月 9 日開催) に釜石市民ランナーが参加した。



○第14回小倉食市食座に被災地応援ブースを設置【平成26年2月】

「第14回小倉食市食座」に東日本大震災被災地応援ブースを設置し、北九州市立大学生による「絆焼うどん」の販売を行った。

当日の売上げの一部は被災地に義援金として寄附された。(日時：平成26年2月22日、23日 場所：小倉北区どんどこ広場)



○おひなさま色紙展（釜石市で開催）【平成26年2月】

本市の書道団体「紫鳳会」（主宰：近藤紫鳳氏）が作成・展示した「おひなさま」色紙を、釜石市へ贈呈し、ひな祭りの時期から3月15日にかけて釜石市内で展示。(日時：平成26年2月22日～3月15日日 場所：シープラザ釜石)



○ 東日本大震災・九州北部豪雨災害支援チャリティー【平成26年3月】

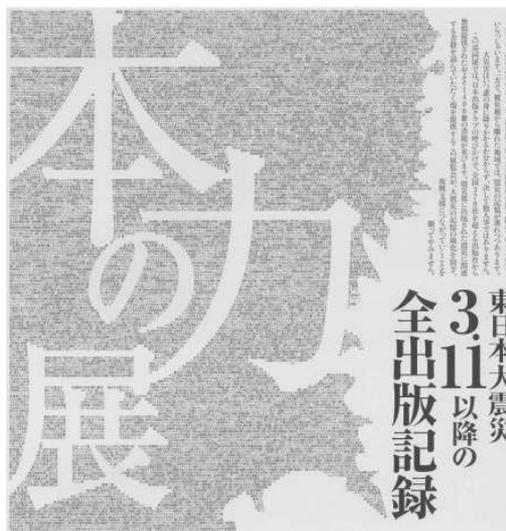
東日本大震災の発生から3年を迎える中、「地域レベルでできる取り組みを通して、被災地を忘れない」という思いを伝えたいとの趣旨で行われた。主催者の「生涯学習グループピース26」は北九州市の活性化や子育て支援・高齢者支援・まちづくり等の企画など、様々な分野において生涯学習の推進啓発に努め、日々活動している団体。

当日は写真パネル展、被災地の特産物販売会、ミニライブ、震災を語るトークショー等が行われた。(日時：平成26年3月9日 場所：ウェル戸畑2階交流プラザ)



○東日本大震災 3.11 以降の全出版記録「本の力」巡回展【平成 26 年 3 月】

日本出版クラブの呼びかけで、全国 370 社を超える出版社から無償提供された東日本大震災以降の出版書籍およそ 1400 点を展示。手にとって閲覧する場を提供することで、大震災の記憶の風化を防ぎ、復興支援につなげたいとの趣旨で開催。(日時：平成 26 年 3 月 11 日～30 日 場所：北九州市立文学館)



○復興庁『REVIVE JAPAN CUP2013』受賞・入選作品パネル展【平成 26 年 3 月】

復興庁は、「新しい東北」の創造、復興に資する有用なプラン、取組を応援するため、「REVIVE JAPAN CUP2013」を開催し、多くの提案が寄せられた。

その優れたアイデアを広く全国に紹介するため、全国で巡回パネル展示が行われ、本市でもコムシティで展示会が開催された。(日時：平成 26 年 3 月 12 日～16 日 場所：コムシティ)



4 連携協力の取り組み

○世界遺産登録への連携した取り組み

釜石市と本市はともに世界遺産登録推進協議会のメンバーとして登録に向けた活動を続け、平成 25 年 9 月、釜石市の橋野高炉跡や本市の八幡製鐵所関連施設を含む「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」が、今年度の世界文化遺産推薦案件としてユネスコ（国連教育科学文化機関）へ推薦されることが決定された。今後、平成 27 年の世界文化遺産登録を目指し取り組みを進めていく。

○「釜石の奇跡」を手本とした教員向け指導書、市民向け防災冊子の作成

教員向け指導書の作成

北九州市教育委員会は、東日本大震災で岩手県釜石市の小中学生がとっさの判断で津波の被害から逃れた「釜石の奇跡」を手本に教員向けの指導書「防災教育プログラム」を作成した。25年4月に市内小・長学校等に配布し、理科や社会科などの授業の中で、子供たちに命を守るすべを伝え、防災知識も関連づけて学ばせる。

作成にあたっては、群馬大理工学研究院の片田敏孝教授の監修を受けている。

市民向け防災冊子の作成

北九州市危機管理室は市民向け防災冊子「防災の心がまえ “あなたと家族の命を守るために！”」を作成した。岩手県釜石市における「釜石の奇跡」で知られ、本市防災アドバイザーである、群馬大学大学院の片田敏孝教授の監修のもと、住民自らが「自分の命は自分で守る」という「自助」意識や、「自分の地域から犠牲者を出さない」という「共助」意識の醸成に特化した、全国でも珍しい防災冊子となっている。



○スマートコミュニティ事業

釜石市は、震災時に一部の地域で長期間停電にみまわれ、市民生活や産業活動に多大な影響を及ぼしたことから、自立したエネルギー確保の必要性を痛感した。そこで、災害時を含めた地域への安定・安価なエネルギー供給や産業の活性化、さらには新たなまちづくりの観点から、スマートコミュニティの導入が検討されている。

平成25年度は、本市が東田地区で展開している北九州スマートコミュニティ創造事業を参考に「釜石市スマートコミュニティ推進協議会」を発足させ、昨年度策定した「釜石市スマートコミュニティ基本計画」の実現に向けて活動を開始した。

本市からも、スマートコミュニティ担当課長が協議会委員となり、本市の経験やノウハウを活かした情報提供を行った。



※スマートコミュニティ：電力や交通、情報などの社会基盤を「統合的に管理しよう」「効率よく使おう」といった、新しいまちづくりの概念。

5 講演活動

平成 25 年 4 月 21 日 福岡県診療放射線技師会総会講演 (北九州ハイツ)

「釜石市における北九州市の復興支援 ～東日本大震災から 2 年が経過して～」

講師：釜石復興支援担当課長 東 義浩

平成 25 年 5 月 24 日 敬愛高校出前講演 (敬愛高校)

「東日本大震災 被災地の現状 ～岩手県・釜石市の事例～」

講師：釜石復興支援担当課長 東 義浩



平成 25 年 5 月 28 日 北九州小倉ライオンズクラブ例会講演 (リーガロイヤルホテル小倉)

「釜石の復興状況と北九州市の支援」

講師：釜石復興支援担当課長 東 義浩

平成 25 年 7 月 18 日 西日本工業大学「北九州学」講義 (西日本工業大学小倉キャンパス)

「被災地における支援 ～釜石市での取り組み～」

講師：釜石復興支援担当課長 東 義浩

平成 25 年 7 月 25 日 九州国際大学リスクマネジメント講座 (九州国際大学)

「北九州市における震災復興支援の取り組み～」

講師：被災地支援担当課長 河端 隆一

平成 25 年 9 月 26 日 北九州市立萩原小学校 人権教育講演会 (萩原小学校)

「東日本大震災 被災地の今 ～岩手県・釜石市での活動報告～」

講師：釜石復興支援担当課長 東 義浩

平成 25 年 11 月 15 日 福岡県高等学校地理研究会 北九州・筑豊地区合同研修会講演

(ウエル戸畑)

「釜石復興支援の取り組みと課題 ～1年8ヶ月の駐在を振り返って～」

講師：釜石復興支援担当課長 東 義浩

平成 25 年 11 月 14 日 防災啓発フェスタ 2013 (JR小倉駅JAM広場)

「復興の街からの報告 ～岩手県・釜石市への支援と現状～」

講師：釜石復興支援担当課長 東 義浩

平成 25 年 12 月 11 日 九州国際大学附属高校「命の尊厳を考える日」特別講演

(九州国際大学附属高校)

「東日本大震災復興支援 ～岩手県・釜石市での活動報告～」

講師：釜石復興支援担当課長 東 義浩

